

令和7年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立草加西高等学校)

目指す学校像	人に優しく、自分に厳しく、社会に貢献できる人間を育てる学校 ～自らの力で夢を実現できる力を養う～
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ意欲と探究心を育む授業の充実 社会に通ずる規範意識の育成と、学校行事や生徒会活動・部活動の充実 個々の希望を叶え、生徒の人生を豊かにするきめ細かなキャリア教育の実現 地域連携の強化と積極的な情報発信による開かれた学校づくりの推進
------	---

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A ほぼ達成 (8割以上)
	B 概ね達成 (6割以上)
	C 変化の兆し (4割以上)
	D 不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者 名
	生徒 名
	事務局(教職員) 名

学 校 自 己 評 価	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	年 度 評 価 (2月10日現在)		学 校 関 係 者 評 価	
					評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 率	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	実 施 日
1	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が授業に落ち置いて取り回しているが、主体的に学ぶという観点で課題がある。 授業等における生徒用タブレットの端末の更なる活用について、さらなる研究・検討が必要である。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着、知識活用能力の向上を図るために、家庭学習の時間を増やし、自学を定着させること。 教員のICT活用スキル等の更なる向上を図るとともに、生徒用タブレット端末の授業での活用について各教科で検討していくこと。 生徒の学ぶ意欲と探究心を刺激し、主体的に学習に取り組む姿勢を育成すること。 図書館、タブレットの利活用促進。 3年間を見通して、計画的に資格取得ができるよう、学校全体で情報を共有して組織的に取り組むこと。 	<p>①主体的・対話的に学ぶ意欲を育成する。</p> <p>②個別最適な学習と共同的な学びの一体化及び指導計画で深い学びの実現に向け、意欲的に学ぶ生徒を育成する。</p>	<p>①授業公開・授業見学や研究授業を実施状況。</p> <p>②生徒学習調査による家庭学習時間等の増加状況。</p> <p>③手帳を活用し、生徒の自己マネジメント能力を高めるとともに、振り返りの習慣を養い、家庭学習の時間を増加させる。</p> <p>④資格試験の受験者数及び合格者数。</p> <p>⑤タブレットの授業での活用状況、図書館の授業での利用数、図書の出出数。</p>	<p>①欠席者、遅刻者、指導者の状況。</p> <p>②教育相談の実施状況。</p> <p>③外部専門家の活用状況。教育支援プランABの活用状況。</p> <p>④二者面談の実施状況。</p> <p>⑤交通ルールマナー推進活動状況。</p>				
2	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな生徒指導により、生徒は落ち着いた雰囲気の中で学習することができ、安定した学校生活を送ることができている。 改善傾向にあるものの、隣住民から自転車マナーに対する意見があり、マナーを守ることができない生徒も少なからずいる。 生徒会が中心となって学校行事の運営ができている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 改善傾向にあるものの、自己肯定感が低い生徒がいるため、生徒が主体的に活躍できる場を数多く設定する。 心身の生徒の実態を把握し、諸課題を早期発見することにより、状況に応じた指導体制や支援体制が求められている。 登下校時の安全を確保する。 	<p>①自らの意志で行動を律する力のある生徒を育成し、規範意識の向上を図る。</p> <p>②二者面談を実施し、生徒の現状を正確に把握する(年2回以上)。</p> <p>③生徒の規範意識を醸成し、特に、交通ルールやマナーを守るとともに、時間に余裕を持った通学に向けて5分前登校を推進し交通事故ゼロを目指す。</p> <p>④SNSとの関わり方についての指導の充実を図る。</p>	<p>①引き続き、教職員間、保護者との連携を密にし、遅刻指導や身だしなみ指導等を実施することで基本的な生活習慣が生徒自らの力で身に付くように指導する。</p> <p>②SC、SSW、草加分校等と連携し、教育相談体制の充実を図る。</p> <p>③特別支援委員会を活用し、特別支援教育を推進する。</p>	<p>①生徒会の本部役員等、各学校行事等の企画・運営を生徒中心で行うことができた。</p> <p>②生徒が学校行事や部活動などに積極的に取り組んだ割合。</p> <p>③草加西高校部活動サポート事業の活用状況。</p> <p>④部活動加入率(90%以上)の維持や部活動の実績状況。</p> <p>⑤草加分校との交流状況。</p>				
3	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科や各分野との連携により、生徒の進路実現の達成率は90%を超えている。年々上位校への受験者数、合格者数共に増加している。 探究学習やICTを用いた学習支援、手帳指導も有機的に繋がり機能している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワンランクアップの進路を目指してチャレンジする意欲を向上させること。 多様な生徒の進路への対応を組織的に行うこと。 本校進路指導の根幹である職業観の育成と就職希望、看護医療系希望への指導を継続すること。 一般、公費、AOでワンランク上の進学を目指す生徒の指導を保護者への情報提供とともに確立すること。 	<p>①希望する進路に向けて意識を高めると共に将来へのキャリアへのこだわりをもち、学習及び進路活動に意欲的に取り組む生徒を育成する。</p> <p>②3年間を見通した進路指導計画について共通理解を図り、進路指導部を中心に学年と連携して行い、ワンランクアップの進路実現に向けて、早い段階からチャレンジする意欲を持たせる。</p> <p>③PTA・後援会と連携し、保護者の教育活動の参画を促進する。</p> <p>④補習・個別面談や小論文の指導の他、長期休業中や放課後を活用して、公務員希望者の講座や進学者、就職対象の補習等を充実させる。</p> <p>⑤スタディサプリやHANDY、AIGROWなどのツールを効果的に運用し、また、全学年で手帳指導を行う。</p>	<p>①進路指導主事・進路担当による進路講話・進路指導研修会の実施状況。生徒の希望進路実現状況。</p> <p>②保護者のPTA活動、各種行事への参加状況、PTAへの情報提供・共有。</p> <p>③補習、個別面談の実施回数、小論文指導の実施回数、進路補習等の設定講座数。</p> <p>④外部の学習等コンテンツのアクセス状況、手帳活用指導の状況。</p>					
4	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な情報発信と施設開放、地域ボランティア、地域の中学校部活動交流等を行っており、近隣中学校とも良好な関係を築いている。 コロナ禍以降学校行事や授業公開への保護者の参加が減少している。 草加ががやき特別支援学校草加分校との交流は良好である。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の小・中学校との交流を継続して実施するとともに定着化させること。 PTA活動への保護者理解と参加者を拡大すること。 地域住民の方々が来校する機会が限られている。 入試倍率の維持・向上へ向けて学校の取り組みをどのように周知していくか。 分校との相互理解を推進するため学校行事を中心とした交流を行い、また、職員交流(合同研修会等)に取り組むこと。 	<p>①保護者、生徒や地域の方々に草加西高校の魅力を発信し、地域社会との連携を積極的に図る。</p> <p>②生徒自身が地域で活躍する機会を多く設定することを通して、地域住民や小・中学校等及び近隣の大学、専門学校等との連携を積極的に推進し、本校の良さを発信する。</p> <p>③ホームページ・Instagramの積極的な更新を行い、効果的に活用することを通して、生徒の活動を積極的に掲載する。</p> <p>④学校説明会・部活動体験の充実・改善を通じて、本校の魅力積極的に発信する。</p> <p>⑤引き続き、草加分校と連携し、生徒指導等、日々の連絡を共有する体制を構築する。また、各種行事を生徒だけでなく保護者、職員が一緒に行い一体感を味わう。</p>	<p>①地域との連携の推進状況。(地域ボランティア活動や地域のイベント等への参加部活と生徒数など)</p> <p>②ホームページ・Instagramの更新数と閲覧数。</p> <p>③学校説明会、部活動体験、体験授業、学校説明会の来校者数。</p> <p>④草加分校との連携・交流状況。</p>					